

7年異年齢集団での交流学習(3年生とダンスを楽しむ)

コミュニケーション能力の向上をめざした文化交流事業（文化庁事業）

令和2年11月14日付



講師のマニシアさん（手前右）の指示のもと、筒を使った踊りを踊る児童生徒ら=伊良部島小中学校体育館

伊良部島小中学校

専門家招き「協働する力」学ぶ

宮古新報

小中混合でダンス教室

伊良部島小学校・中学校（宮城克典校長）は11日から3日間の日程で、ダンサーや打楽器奏者を招き、同校3年生と7年生を対象にダンス教室を行った。最終日となる13日、児童生徒らは打楽器の軽快なリズムに合わせ、自由に身体を動かしていた。

授業では「他者理解力」「協働する力」「伝える力」を身につけることをねらいとしている。同校では小中一貫校の特色を生かし、発達段階の異なる集団がそれぞれの立場でコミュニケーションを取りながら身体を使ったコミュニケーションを楽しむ。講師のマニシアさんは、

文化芸術による子どもの育成事業（コミュニケーション能力向上事業）の一貫で、小中学校に出向き、ワークショップなどをを行う公募型の事業。

児童生徒一人ひとりに紙の筒を渡し、筒を使った踊りを数種類つくるよう指示。児童生徒らは3年生と7年生混合の5グループに分かれ、それぞれのグループでつくった踊りを繋げ、全員でリズムに合わせて踊った。同校の与那覇周作教頭は「先生から言われるのでではなく、児童生徒が自ら考えて行動するため、自主性を身につける効果を期待している」と語った。

この事業は文化庁の「文化芸術による子どもの育成事業（コミュニケーション能力向上事業）」の一貫で、アーティストが全国各地の小中学校に出向き、ワークショップなどをを行う公募型の事業。

本校の特色を生かして、3年生と7年生発達段階が違う学習集団でダンスの学習を6時間行いました。7年生が3年生をうまくリードして、チームでオリジナルの作品を創作できました。互いを尊重し協力して表現できる力が發揮できました

令和2年11月15日付

り、達成感の笑顔を見せていた。

同事業は、文化庁からJCDN（ジャパン・コンテ

「みんなでダンスを楽しもう」小3、中1の異学年合体育学習を通して、「合体育学習を通して」をテーマに伊良部島小学校・中学校（愛称・結の橋学園、宮城克典校長）の体育馆で13日、文化芸術による育成総合事業（コミュニケーション能力向上事業）を活用した体育学習が行われた。3年生20人、7年生（中学1年生）34人の計54人が参加。子どもたちは、躍動感あふれるダンスを踊



躍動感あふれるダンスを踊る子どもたち=13日、伊良部島小・中体育馆

ンボラリーダンス・ネットワークが委託を受けて実施しているもの。

派遣されたダンスマスターが11～13日までの3日間の日程で、子どもたちにダンスの魅力を指導。ダンスは13日午後に仕上がった。子どもたちはダンスを通してコミュニケーション力を發揮し、完成したダンスを生き生きと披露した。

7年生の新垣宏士郎さんと浜川大雅さんは「激しいダンスだったが、とても楽しかった」と笑顔で話した。